

令和6年ぬくもりを活用した学習会について(ビデオ視聴を中心にして)

① 気づきましょう

② 考えましょう

③ 語り合しましょう

ぬくもりでは、上記の3つのステップで学習を進めるように構成されています。

①では、学習テーマを自分のこととして意識をし、②では、身近な生活に目を向け、気になることを考えることで、主体的に学習する雰囲気をつくります。③では、学んだことをもとにして、今後の行動につなげるようまとめます。

3つのステップの中に、語り合いやビデオ視聴等を入れることで学習の効果が高まります。

ビデオ視聴を中心とした進め方(例)

20 分間	<input type="checkbox"/> 趣旨説明 テーマ・学習会の目的を確認する。(自治会長のあいさつの中に含めるといい) <input type="checkbox"/> 学習方法の説明(推進員) ぬくもりの資料を参考にする。 <small>趣旨説明と学習方法の説明を一人でしてもいい。ぬくもりは必要なページをコピーしてしようするといいい。</small> <input type="checkbox"/> ワーク1 挿絵を見て感じたことを書く。 <input type="checkbox"/> ワーク2 例文を朗読する。考えたことを書き込む。 可能なら何人かに発表してもらおう。もしくは、隣同士の二人で交流する。
30 分間	<input type="checkbox"/> ビデオ視聴 それぞれのテーマにあった DVD を町懇手引きの一覧表より選択する。 DVD の視聴時間はそれぞれ違うので事前に調べて計画を立てます。
25 分間	<input type="checkbox"/> ワーク3 例文を朗読する。今まで取り組んできたこと、これから取り組めそうなことを書き込む。書き込んだことを6名以下のグループで交流する。グループで出されたことを全体の中で、発表してもらおう。 <input type="checkbox"/> 終わりに まとめの話をする。(ぬくもりの資料を参考にしてもいい。)

1時間 15分として時間配分を考えています、ゆとりがなければ、前半のワークは、考えるだけにして、1時間程度に抑えることも出来ます。後半は、まとめとして書く時間と話し合いの時間を確保することをお勧めします。

発表や話し合いを取り入れるとより一体感が生まれますが、発言に抵抗感のある方が多いと考えられます。そこで、ワークに自分の考えを書き込むことが大切です。書いてあることを伝えるところから話し合いが始まるので抵抗感が低くなります。

また、下記4点(上記2点だけでもいい)を、発表や話し合いのルールとして確認することで、抵抗感をさらに和らげると考えています。

- ここだけの話にする。(秘密を守りましょう)
- 発言を強要しない。(聞く参加も認めましょう)
- 相手の考えを頭ごなしに否定しない。(受け止めあいましょう)
- 自分だけが長く話し過ぎない。(全員の発言を保障する)

最初に発言するのは、勇気がいると思います。役員さんに前もって発言内容も含めて、お願いしておくといいきっかけづくりになります。

以下は、令和6年度ぬくもりに掲載されている人権課題の具体的な進め方を紹介します。

町別懇談会 ビデオ視聴を中心としたぬくもりの活用具体例①

テーマ 部落差別(同和問題)

ぬくもり 3ページ 4ページ

DVD A210 大切なひと(34分)

A174 あなたに伝えたいこと(36分)

20 分間	<p>□趣旨説明 (自治会長・推進員) ぬくもり 4ページの中から話題を見つけるといい。 4ページの「あなたはどう思いますか」のところで、住宅を選ぶときに同和地区を避ける人が半数近くいる実態があります。同和問題のことを口に出さずそっとしておけば差別は自然となくなると考えている人が3割以上います。しかしながらインターネットの普及とともに部落差別に関する人権侵犯事件が急増しています。長年取り組んでいる課題です。現状を理解して私たちが何をしたらいいかを考える機会があればと考えています。</p> <p>□学習の方法を説明 (推進員) 今回は、ぬくもりを使って、皆さんの思いを書き留めながら、ビデオの教材で深めていきますのでご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>□ワーク1 イラストを朗読する。(参加者2人もしくは役員に朗読にしてもらえるといい) どのようなことを感じますか。考えてみてください。 参加者は、ワーク1に書き込む。</p> <p>□ワーク2 問題文を読む。(参加者に読んでもらえるといい)</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>あなた若しくは、あなたの子どもが同和地区出身者と結婚することになったとき、どのようなことを考えますか。</p></div> <p style="text-align: center;">参加者は、考えたことをワーク2に書き込む。 可能なら何人かに発表してもらおう。もしくは、隣同士の二人で交流する。</p>
35 分間	<p>□ビデオ視聴</p> <p style="text-align: center;">A210 大切なひと A174 あなたに伝えたいこと</p>
25 分間	<p>□ワーク3 問題文を読む。(参加者にしてもらえるといい)</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>同和問題の解決に向けてあなたができていること、さらにこれからできることは、なんだと考えますか。</p></div> <p>参加者は、自分の思いや気づきをワーク3に書き込む。グループで交流する。 6人以下のグループで書いたことを交流する。各グループで出た考えを全体の中で発表する。 10人以下の場合は、全体で交流し、全員に発言してもらえようにする。 発言をホワイトボードや紙に記録しておくといい。</p> <p>□終わりに (行政推進員等) ぬくもり 4ページの中から話題を見つけるといい。 国は、地方公共団体とともに、昭和44年から33年間、特別措置法に基づき、地域改善対策を行ってきました。その結果、同和地区の劣悪な環境に対する物的な基盤整備は着実に成果を上げ、一般地区との格差は大きく改善されました。 しかし、差別がすべて解決したとは言えない状況があります。結婚問題を中心に、差別意識は依然として存在していますし、最近ではインターネットを利用して差別情報が世間に広く知れ渡るなど新たな問題も生じてきています。 部落差別(同和問題)は基本的人権や人間としての尊厳にかかわる重大な社会問題です。今後とも、女性や子ども、高齢者や障害者、外国人などにかかわる人権問題への取組と一体となって、その解決を積極的に進めていく必要があります。(4ページ「部落問題は解決したのですか」より)</p>

ぬくもりを持参してもらうことがむずかしい場合は、使用するページをコピーして配布する。

町別懇談会 ビデオ視聴を中心としたぬくもりの活用具体例②

テーマ 性的マイノリティ

ぬくもり 5 ページ 6 ページ

DVD A206 バースデー(37分) A199 レインボーストーリーズ(22分)

B165 あなたがあなたらしく生きるために(30分)

20 分間	<p>□趣旨説明 (自治会長・推進員) ぬくもり 6 ページの中から話題を見つけるといい。 「LGBT 理解増進法」が 2023 年 6 月 23 日に施行されました。「全ての国民は、性的指向またはジェンダーアイデンティティにかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重される。性的指向およびジェンダーアイデンティティを理由とする不当な差別はあってはならない」と記されています。私たちは LGBT のことを正しく理解することが大切です。</p> <p>□学習の方法を説明 (推進員) 今回は、ぬくもりを使って、皆さんの思いを書き留めながら、ビデオの教材で深めていきますのでご協力をよろしくお願いします。</p> <p>□ワーク 1 問題文を読む。(参加者に読んでもらえるといい)</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">上のイラストを見て、あなたはどのような感じますか。</div> <p style="text-align: center;">参加者は、ワーク 1 に書き込む。もしくは近くの人と話し合う。</p> <p>□ワーク 2 問題文を読む。(参加者に読んでもらえるといい)</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">LGBTQ について知っていることを考えましょう。</div> <p style="text-align: center;">参加者は、考えたことをワーク 2 に書き込む。</p> <p style="text-align: center;">可能なら何人かに発表してもらおう。もしくは、隣同士の二人で交流する。</p>
30 分間	<p>□ビデオ視聴 A206 バースデー A199 レインボーストーリーズ B165 あなたがあなたらしく生きるために</p>
25 分間	<p>□ワーク 3 問題文を読む。(参加者にしてもらえるといい)</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">LGBTQ の方と共に暮らしやすい地域をつくるため、あなたはどんなことができますか。</div> <p style="text-align: center;">参加者は、自分の思いや気づきをワーク 3 に書き込む。グループで交流する。</p> <p>6 人以下のグループで書いたことを交流する。各グループで出た考えを全体の中で発表する。 10 人以下の場合は、全体で交流し、全員に発言してもらえるようにする。 発言をホワイトボードや紙に記録しておくといい。</p> <p>□終わりに (行政推進員等) ぬくもり 6 ページの中から話題を見つけるといい。 6 ページの、LGBTQ の若者がここ 1 年で経験したことのグラフを見てください。10 代の自殺を考えた人の割合は、半数近くとなっています。一方、回答者全体の 91.6% が「保護者に相談できない」と答えています。周囲からの偏見や差別的言動におびえ、誰にも悩みを打ち明けることができず苦しんでいます。LGBTQ などの性的マイノリティ(少数者)に対する偏見や差別意識をなくし、すべての市民が、多様な個性を尊重し合い、豊かで安心して生活できる社会の実現をめざしましょう。 若者がこんなに苦しむような世の中を改善するため、今日皆さんが考えていただいたことを早急に実践していただきたいと考えます。</p>

ぬくもりを持参してもらうことがむずかしい場合は、使用するページをコピーして配布する。

町別懇談会 ビデオ視聴を中心としたぬくもりの活用具体例③

テーマ 高齢者の人権 ぬくもり 5 ページ 6 ページ

DVD A185 はじめて認知症の人に接するあなたへ(19分)

A209 認知症と向き合う(30分) A176 ここから歩き始める(34分)

20 分間	<p>□趣旨説明 (自治会長・推進員) ぬくもり 8 ページの中から話題を見つけるといい。</p> <p>8 ページの「認知症高齢者はどのくらいいるの」のグラフを見てください。現在は、高齢者5人に1人が認知症であると予想できます。さらに今後増えていくようです。年齢別をところで、85歳をこえると女性は半数、90歳をこえると7割が認知症とのデータにびっくりしています。すでに認知症の方と関わりのある方もおられると思いますが、自分自身が、家族がいつなってもおかしくない年齢に達している方も多いと思います。現状を理解して私たちが何をしたらいいかを考える機会ななればと考えています。</p> <p>□学習の方法を説明 (推進員)</p> <p>今回は、ぬくもりを使って、皆さんの思いを書き留めながら、ビデオの教材で深めていきますのでご協力をよろしくお願いします。</p> <p>□ワーク1 問題文を読む。(参加者に読んでもらえるといい)</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>上のイラストを見て、あなたはどのような感じますか。</p> </div> <p style="text-align: center;">参加者は、ワーク1に書き込む。もしくは近くの人と話し合う。</p> <p>□ワーク2 問題文を読む。(参加者に読んでもらえるといい)</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あなたが認知症の人と関わることになったとき、どのようなことを考えますか。</p> </div> <p style="text-align: center;">参加者は、考えたことをワーク2に書き込む。</p> <p style="text-align: center;">可能なら何人かに発表してもらおう。もしくは、隣同士の二人で交流する。</p>
30 分間	<p>□ビデオ視聴 A185 はじめて認知症の人に接するあなたへ A209 認知症と向き合う A176 ここから歩き始める</p>
25 分間	<p>□ワーク3 問題文を読む。(参加者に読んでしてもらえるといい)</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>認知症の人の人権尊重のため自分ができることは、何だと思えますか。また地域でできることは何だと考えますか。</p> </div> <p style="text-align: center;">参加者は、自分の思いや気づきをワーク3に書き込む。グループで交流する。</p> <p>6人以下のグループで書いたことを交流する。各グループで出た考えを全体の中で発表する。</p> <p>10人以下の場合は、全体で交流し、全員に発言してもらえるようにする。</p> <p style="text-align: center;">発言をホワイトボードや紙に記録しておくといい。</p> <p>□終わりに (行政推進員等) ぬくもり 8 ページの中から話題を見つけるといい。</p> <p>最後のまとめとして、8ページの「認知症の人と接するときに配慮したいこと」を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本人に近づいて相手の視野に入ってから、目を見て話しかけましょう ●笑顔など、おだやかな表情で話しましょう ●伝わるように、わかりやすく、ゆっくりと話しましょう ●一度に多くのことを話すと混乱するので、1つずつ話しましょう ●言葉がすぐに出てこないのも、数呼吸まつ気持ちで聞きましょう ●よくわからないことを話していても、うなずきや相づちで、受け入れようとしている姿勢を示しましょう ●自尊心を傷つけない。子ども扱いしないようにしましょう ●ありえないような話でも否定しないようにしましょう ●何かするときには、言葉をかけながらおこないましょう

ぬくもりを持参してもらおうことがむずかしい場合は、使用するページをコピーして配布する。

町別懇談会 ビデオ視聴を中心としたぬくもりの活用具体例④

テーマ 身近な人権

ぬくもり 9ページ 10ページ

DVD A207 言葉があるから(31分)

20 分間	<p>□趣旨説明 (自治会長・推進員) ぬくもり 10ページの中から話題を見つけるといい。 自覚なき差別、マイクロアグレッションを知っていますか。10ページの中ほどに説明されています。「無意識の思い込み(偏見)によって、悪意なく誰かを傷つけること」です。「micro(マイクロ)」は「小さい」、「aggression(アグレッション)」は「他者への攻撃」を意味するように、日常会話でのささいな差別発言がその多くを占めています。マイクロアグレッションは「差別」の一種ですが、発言した本人には悪意がありません。だからこそ不快な思いをした側も指摘しにくい状況にあるのです。より高い人権感覚を身につけていただきたいと今回このテーマを選びました。表の内容にふれてもいい。</p> <p>□学習の方法を説明 (推進員) 今回は、ぬくもりを使って、皆さんの思いを書き留めながら、ビデオの教材で深めていきますのでご協力をよろしくお願いします。</p> <p>□ワーク1 イラストを朗読する。(参加者もしくは役員に朗読にしてもらえるといい) どのようなことを感じますか。考えてみてください。 参加者は、ワーク1に書き込む。</p> <p>□ワーク2 問題文を読む。(参加者に読んでもらえるといい)</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">「あなたは性別の役割についてどんな思いこみがありますか」について考えましょう。</div> <p>自分もあてはまることを考えてください。 参加者は、考えたことをワーク2に書き込む。 可能なら何人かに発表してもらおう。もしくは、隣同士の二人で交流する。</p>
30 分間	<p>□ビデオ視聴</p> <p style="text-align: center;">A207 言葉があるから</p>
25 分間	<p>□ワーク3 問題文を読む。(参加者に読んでもらえるといい)</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">自覚なき差別をなくすために、あなたは、どのようなことができますか。</div> <p>参加者は、自分の思いや気づきをワーク3に書き込む。グループで交流する。 6人以下のグループで書いたことを交流する。各グループで出た考えを全体の中で発表する。 10人以下の場合は、全体で交流し、全員に発言してもらえようにする。 発言をホワイトボードや紙に記録しておくといい。</p> <p>□終わりに (行政推進員等) ぬくもり 10ページの中から話題を見つけるといい。 10ページの下の方に自覚なき差別をなくすための一例が書かれています。日常生活の中で差別事象に出会ったとき、沈黙したり、笑ったり、同調したりすれば、差別を助長することとなります。加害者に悪意がないので、「それってパワハラじゃない」等、注意をしてあげることが優しさです。それができなくても、被害者に共感したり、擁護したりする行動をとることが、差別をなくすことにつながります。自分が差別をしないように気をつけることは当然大切ですが、差別をさせないように行動することが一番大切だと思います。</p> <p>あなたの言動は人を幸せにすることがあります。今日の研修で、しゃべりにくいと感じた方も多いでしょうが、人を幸せにする言葉があるから、そんな言葉を見つけて、積極的に使っていきましょう。</p>

ぬくもりを持参してもらおうことがむずかしい場合は、使用するページをコピーして配布する。